

ふうしゅてんけい

風景点趣

管内四季だより ②⑤



釜石市唐丹町本郷地区の桜並木。約250Mの桜並木には満開のソメイヨシノが、春の陽光の下咲き誇っていました。

この桜並木は昭和8年の三陸津波で被災した同地区の皆さんが翌年から地域の復興を願い植えたもので、樹齢80年を超えるそうです。また、東日本大震災後も新たな桜並木を目指して植樹に取り組んでいるとのこと。

復興のシンボルである桜並木。一日も早い復興を祈ります。

「復興の桜並木」

釜石市唐丹町（本郷桜並木）

写真・文／高沢 翔(西和賀町沢内)

西和賀町をメインに風景写真を撮っている写真家。

ホームページ「高沢翔写真館」<http://shou.eek.jp>

撮影データ(デジタルカメラ) 2017年4月下旬
ISO感度: 200 絞り: f22 露出補正: +0.7

朝から元気に返ってくる挨拶、昼休みにカップラーメンをする音。そんな日常が終わる。楽しい時、大変な時を共にした思い出を懐かしみ、時には悲しくもなるが、後ろを振り返る暇はない。目指すは「らしき溢れる広報誌」。2人の想いを引き継ぎ、今日もペンを走らせる。〔佐藤〕

4月には出会いと別れの季節。1年という短い期間ではありましたが、私も広報から異動になりました。たくさんの方々に世話になった広報業務、一番頭をひねる編集後記とも今月でお別れです。名残惜しくもありますが、今日までの経験を活かし新天地でも頑張ります。大変お世話になりました! 〔小原〕

広報マンとして走り続けた5年、全ての原動力は農家の皆さんでした。落ち込んだ日も農家の熱い思いや笑顔を出せば何だっって頑張れた。取材を超えて盃を交わし、こびるや牛乳を片手に笑い合った時間が農協人としての心を私のまん中に作ってくれた。金融部で更に揺るぎない芯に成長させ、頂いた沢山の恩を返したい。最高の5年間でした。ありがとう。〔大内〕



編集後記

From Editor's